【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成28年4月14日(2016.4.14)

【公開番号】特開2014-191007(P2014-191007A)
【公開日】平成26年10月6日(2014.10.6)
【年通号数】公開・登録公報2014-055
【出願番号】特願2013-63528(P2013-63528)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　27/02　(2006.01)
Ｇ０９Ｆ　9/00　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　26/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　27/02　Ｚ
Ｇ０９Ｆ　9/00　３５８
Ｇ０９Ｆ　9/00　３５０Ｚ
Ｇ０２Ｂ　26/10　１０４Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成28年2月25日(2016.2.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
観察者の頭部に装着して使用されるフレームと、
前記フレームに支持され、信号光を出射する光ファイバーと、
前記光ファイバーから出射された前記信号光を走査する光スキャナーと、
前記光ファイバーに対して離間し、前記光スキャナーを支持する支持部と、
前記フレームと前記支持部とを接続し、前記フレームから前記光スキャナーへの衝撃を緩和する衝撃緩和部と、を備えることを特徴とする画像表示装置。
【請求項２】
前記支持部は、前記光スキャナーを収納する筐体である請求項１に記載の画像表示装置。
【請求項３】
前記筐体は、前記信号光を透過する窓部を有し、前記光ファイバーから出射した前記信号光が前記窓部を介して前記光スキャナーに入射する請求項２に記載の画像表示装置。
【請求項４】
前記光ファイバーから出射した前記信号光を前記光スキャナーに向けて反射する反射部を備える請求項１ないし３のいずれか１項に記載の画像表示装置。
【請求項５】
前記反射部は、前記フレームに設けられている請求項４に記載の画像表示装置。
【請求項６】
前記衝撃緩和部は、弾性部材を有する請求項１ないし５のいずれか１項に記載の画像表示装置。
【請求項７】
前記光スキャナーおよび前記支持部は、前記フレームを前記使用したとき、前記フレームに対して前記観察者側に位置している請求項１ないし６のいずれか１項に記載の画像表

示装置。
【請求項８】
前記フレームに支持され、前記信号光を生成する信号光生成部を備え、
前記信号光生成部で生成した前記信号光は、前記光ファイバーの一端部に入射し、前記光ファイバーの他端部から出射する請求項１ないし７のいずれか１項に記載の画像表示装置。
【請求項９】
前記光スキャナーは、光反射性を有する光反射部を備える可動部を有し、前記可動部を互いに直交する２つの軸周りにそれぞれ揺動させることにより前記信号光を２次元的に走査する請求項１ないし８のいずれか１項に記載の画像表示装置。
【請求項１０】
前記光スキャナーは、前記可動部、および、前記可動部を囲むように設けられた枠体部を含むジンバル構造を有する請求項９に記載の画像表示装置。
【請求項１１】
前記衝撃緩和部は、貫通孔を有し、前記光ファイバーから出射された信号光は前記貫通孔を通る請求項１に記載の画像表示装置。